

2月の浪合パークは記録的大雪を記録する月となり、窓の外には除雪された雪の壁が、、、ただ日中は暖かい日も少しずつ増えてきており屋根に積もった雪がとけてきたり、駐車場の雪の壁が少しずつ低くなってきていて、季節はもうすぐ春です！

3月5日は「啓蟄」(けいちつ)。冬ごもりしていた虫も地中から這い出して来る頃だといわれます。そして20日は「春分」です。桜の咲く春が待ち遠しいですね。

3月の夜空

- 5日 (水) 二十節気「啓蟄」
★22時頃「プレアデス食」①
- 7日 (金) ● 上弦
- 8日 (土) 水星が東方最大離角
- 14日 (金) ● 満月
- 17日 (月) 春の彼岸の入り
- 20日 (木) 二十四節気「春分」
- 22日 (土) ● 下弦
- 24日 (月) 土星の環の消失②
- 29日 (土) ● 新月

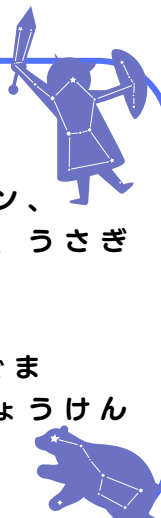
3月オススメ星座

<冬の星座>

ぎょしゃ、おうし、オリオン、
おおいぬ、こいぬ、ふたご、うさぎ

<春の星座>

おおぐま(北斗七星)、こぐま
かに、しし、うみへび、りょうけん



今月見頃の天体

おうし座「ヒヤデス・プレアデス星団(すばる)」ぎょしゃ座～ふたご座の散開星団 M35～M38
オリオン大星雲M42、ペルセウス座二重星団「h-χ」かに座プレセペ星団

= 惑星 =
火星、木星

今月の天体イベント①

3月5日 プレアデス食 ～月が「すばる」を隠す「星食」が起こる～

月は満ち欠けしながら星座の中を移動していきますが、今月はその「月の通り道」にプレアデス星団(すばる)があるため、「プレアデス食」が起こります。プレアデス星団は、清少納言が枕草子の中で「星はすばる…」と詠われた「すばる」。

3月5日の22時頃から、月齢5.5の上弦前の月が、すばると重なりながら西の地平に沈んでいきます。月の影の部分から隠されますので、見えない輪郭を感じられるかもしれません。月の明るさもあるので、双眼鏡での観察がおすすめです。



今月の天体イベント②

「土星の環の消失」

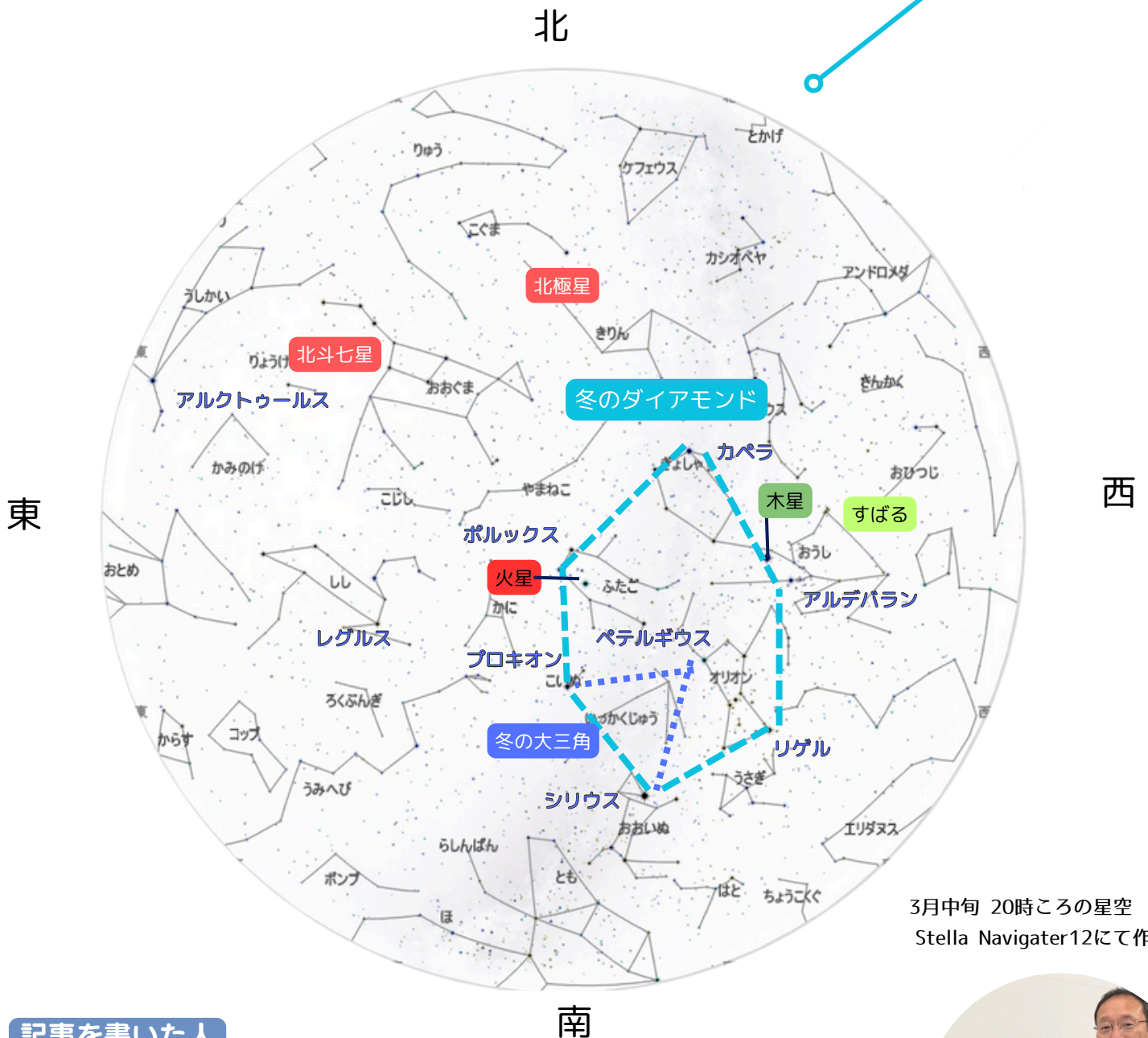
土星は地球との位置関係から環の傾きが年々変わって見えますが、この3月、ちょうど真横を向く位置になります。「土星の環」は意外なほど薄いため、しばらくは消えてしまったように見えなくなってしまう。

3月は春分。東の空に春の星座が上がってきました！

冬の星座も西側の空に移り、東の空には春の星座が上がってきました。

3月は冬の星座と春の星座が夜空を二分する季節です。1等星などの明るい星が少ない夜空ですが、春は大型の星座が勢ぞろい。この時期、北の空には春を象徴する北斗七星が立ち上がるように上ってきてとても目につきます。有名な北斗七星ですが、「北斗七星という星座はない」というのをご存じでしょうか？

北斗七星はおおぐま座の一部で、ちょうど熊の背中から尻尾に位置しています。おおぐまは東の空を駆け上がるように見えますが、これと並んで上がるのがしし座です。まるで競い合うようにも見えますが、競っているのはこれだけではありません。うみへび座も天頂に向かって並んでいます。東の地平線から駆け上がる、おおぐま、しし、うみへびを探してみましょう。「もうすぐ春ですよ」と教えてくれるような星空です。



3月中旬 20時ごろの星空
Stella Navigator12にて作成

記事を書いた人

星空案内人認定制度により、2015年に「星空案内人」となる。飯田市美術博物館プラネタリウム解説員として5年、阿智村「天空の楽園 ヘブンスそのはら」にて星空ガイドを6年担当。わかりやすい解説、もっと星を見たい、知りたくなる星空ガイドを心がける。小さな天文学者の会会員。長野県プラネタリウム連絡協議会会員。



星空案内人 川手俊美